

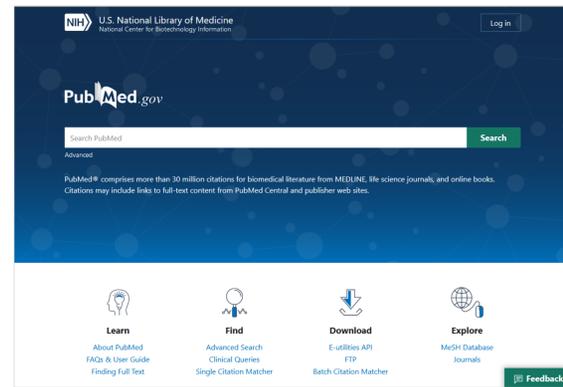
# New PubMedの変更点と新機能



2019年11月18日にPubMedのリニューアル版(以下、New PubMed)が利用可能になりました。

2020年春以降、New PubMedに正式に移行され、現在のPubMed(以下、legacy PubMed)は利用できなくなる予定です。

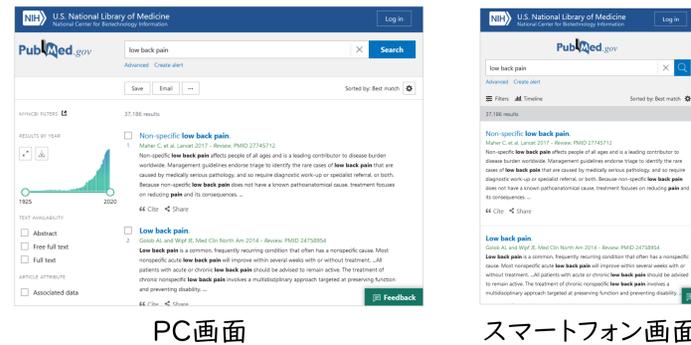
New PubMedでは何が変わったのか、主な変更点や新機能をご紹介します。



## 主な変更点

### 1. スマホやタブレットからも使いやすくなりました!

画面のサイズによって、画面レイアウトが変わるレスポンシブデザインになり、スマートフォンやタブレットでも利用しやすくなりました。



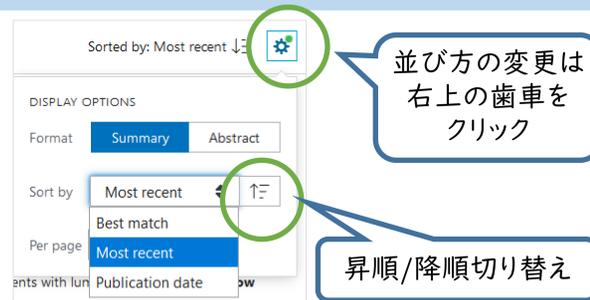
画面サイズによって、表示や機能の一部が変わります

### 2. 検索機能の精度が向上しました!

機械学習技術を応用して、検索機能の精度が向上しました。また、自動マッピング機能の改善により、キーワードを入力して検索を行うと、その単語の複数形や、ing形などを含む文献も自動的に検索されるようになりました。このため、同じキーワードで検索しても、legacy PubMedとはヒットする文献の数が異なりますのでご注意ください。

### 3. 検索結果の並び方が変わりました!

legacy PubMedでは、PubMedに登録された順の“Most Recent”が標準の並び方ですが、New PubMedでは、関連度順の“Best match”が標準の並び方となりました。“Most recent”、“Best match”の他に、“発行日順のPublication date”への切り替えも可能です。

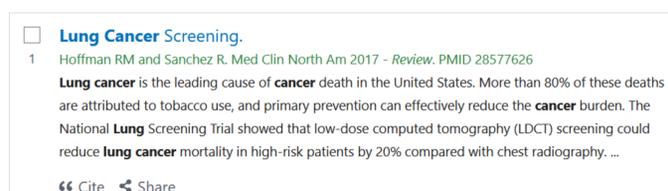


並び方の変更は右上の歯車をクリック

昇順/降順切り替え

### 4. 各文献のAbstractの一部が表示されるようになりました!

検索結果一覧の画面で、各文献のAbstractの一部が表示されるようになりました。また、検索の際に入力したキーワードは太字で表示されます。



## 新機能

### 1. PREV RESULT/NEXT RESULTボタンが追加されました!

各文献の詳細画面から検索結果一覧に戻らなくても、“PREV RESULT”ボタンで前の文献に、“NEXT RESULT”ボタンで次の文献に進めます。

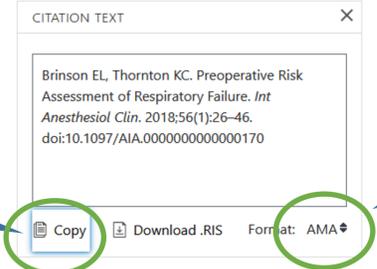


前の文献へ

次の文献へ

### 2. Cite機能が追加されました!

Citeとは、AMA, MLA, APA, NLMの4種類の引用形式で文献情報を出力できる機能です。検索結果一覧と、各文献の詳細画面から利用可能です。



文献情報のコピー

引用形式の変更

## 従来通りの点

### My NCBIは引き続き利用できます

My NCBIに登録している方は、今までと同じID・パスワードでご利用いただけます。アカウントや保存していた検索式などの移行作業を行う必要はありません。

### PubMedの関連サービスは今まで通りです

PubMedには、「Clinical Query」や「MeSH Database」、「Single Citation Matcher」などの関連サービスがありますが、今回リニューアルされたのはPubMedのみです。関連サービスに関しては、デザインや機能の変更はありません。

## More Information

変更点について詳しく知りたい方へ↓  
“A New PubMed: Highlights for Information Professionals” (英語)

New/legacy PubMedの切り替え方法等はこちら↓

PubMedの提供元、米国国立医学図書館がまとめています。



このポスターは撮影OKです



文責:  
東邦大学医学メディアセンター  
文献検索ヘルプデスク

作成日:2020年 2月 25日